

地方経済情報 Weekly No.405

環境に優しく不動産価値向上にも寄与する ZEB

1. 2050年のCO2排出実質ゼロに向けて

地球温暖化対策のため、我が国は2020年10月に「2050年のカーボンニュートラル」を宣言しました。また、熊本県は国に先駆けて、2019年12月に「2050年熊本県内CO2排出実質ゼロ」を宣言しています。そのような環境下、事業用の建築物の省エネや創エネを推進するZEB(ゼブ: Net Zero Energy Building)が注目を集めています。

ZEBとは、断熱性を高めることなどで使用するエネルギーを減らし、太陽光発電等の創エネで、消費するエネルギー消費量を正味(ネット)でゼロにすることを目指した建物です。

2. ZEB導入を支援する「ZEBプランナー」

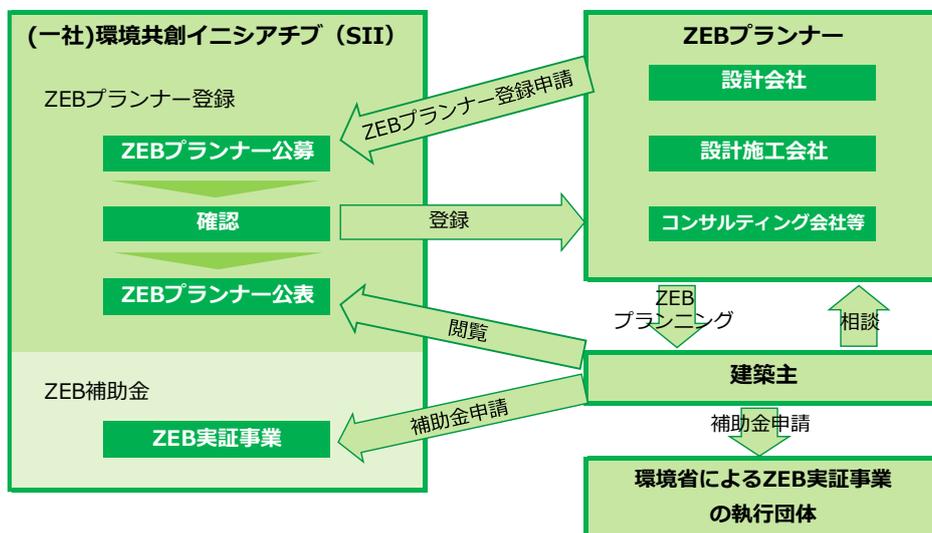
「ZEBといわれても何から検討したら…」と思われるかもしれませんが、事業者のZEB導入を支援する制度もあります。(一社)環境共創イニシアチブ(SII)は、一般に向けて広くZEB化実現に向けた相談窓口を有し、業務支援(建築設計、コンサルティング等)を行い、その活動を公表する事業者を「ZEBプランナー」と定め、公募しています(図表)。

熊本県内では現在7事業者がZEBプランナーに登録済みで、2025年度に各事業者が受注する建築物のうち、ZEBが占める割合を50%以上とすることを目標としています。

3. ZEBは事業用不動産の価値向上などにも寄与

ZEBは建物のエネルギー消費量が削減できること以外にも、不動産価値向上などのメリットがあると思われます。また、ZEBを実現する建物に対しては、国による補助事業も実施されています。自社の建物の新築や改修の際には、ZEBプランナーによる支援等も活用しながらZEBの導入を検討してみてもはいかがでしょうか。

〔図表〕 ZEBプランナー制度の概要



ZEBプランナー・マーク



ZEBプランナー一覧検索
(SIIホームページへのリンク)

